

付加的役務電話番号の番号ポータビリティについて
特定IP電話番号の番号ポータビリティについて

2024年5月30日

付加的役務電話番号の番号ポータビリティについて

①番号ポータビリティの必要性について

0120/0800等（着信課金機能）の付加的役務電話番号の番号ポータビリティは既に実施されており、番号ポータビリティ可能な電気通信番号であることは、利用者に広く認知されている理解。0570（統一番号機能）と併せて番号ポータビリティの必要性があると考えます。

②方式について

固定電話番号の双方向番号ポータビリティにて今後導入予定のENUM方式が適当であると考えます。

結論（当社考え）

付加的役務電話番号の番号ポータビリティは必要。電気通信番号計画（番号の使用条件）に盛り込まれることが適当と考えます。

特定IP電話番号の番号ポータビリティについて

①番号ポータビリティの必要性について

利用者による特定IP電話番号の番号ポータビリティの要望が高まった際に、番号ポータビリティの対象とすることが適当と考えます。現時点では番号ポータビリティを要望する声はあまり聞き及びません。それらを踏まえ、現時点では、当該電気通信番号の番号ポータビリティ実施の必要性は低いのではないかと考えます。

考えられる理由としては、利用者による特定IP電話番号に対する捉え方が固定電話番号とは異なるためではないかと思われれます。

認知

特定IP電話番号の認知は進んでいるものの、まだ、利用者にとって固定電話番号程、身近な番号ではないと思われれます。

法人利用

法人利用において特定IP電話番号を代表電話番号にする割合は少ない（固定電話番号を代表電話番号として採用する利用者が多い）。当該電気通信番号は子番号等の位置づけで使用されていることが多く見受けられます。

個人利用

個人利用において、家の電話であれば固定電話番号、個々の個人であれば音声伝送携帯電話番号が、普及している認識。個人利用で特定IP電話番号を取り入れるケースとしては、予備番号的な位置づけだと思われれます（例：オークション等で、取引時の連絡先電話番号としての利用など）。

②方式について

固定電話番号の双方向番号ポータビリティにて今後導入予定のENUM方式が適当であると考えます。

結論（当社考え）

特定IP電話番号は子番号（予備番号）的な位置づけで、番号ポータビリティの要望は固定電話番号ほど多くないと思われる。当該電気通信番号の番号ポータビリティが出来ないことで不便を感じる利用者の割合は、まだ、少ないのではないかと考えます。



現時点において、特定IP電話番号の番号ポータビリティについては、実施の必要はないと考えます。

但し、今後、利用者による番号ポータビリティのニーズが高まった際は、この限りではありません。

例1. 会社の代表電話番号に特定IP電話番号の採用が増えた場合。

例2. 多くの各家庭で契約されている0ABJ番号の固定電話に代わり、特定IP電話番号の採用が増えてきた場合。